

しんたい中期計画 2020-2023（第3期）



1. しんたいの基本的考え【コンセプト】と社会的使命【ミッション】



～「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域（信州・東御）から発信する～



私たち「しんたい」は、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことによって、だれもが「からだを育み、こころを育み、きずなを育み」ながら、地域で健やかに暮らし続けることができるための公共政策づくりに寄与します。

2. しんたいの行動指針【ビジョン】

しんたいは、「子どもの育ち」「心身の健康」「みんなのスポーツ」に関わる各領域を個別に捉えることなく、相互に関連づけながら研究と実践を進めていくことを強みとし、地域に密着した独自性のあるシンクタンクとして、核となる各種事業を展開していきます。またその活動により、公益法人として「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成にも貢献します。

① 子どもの育ちを応援する

（教育・子育て領域）

子どもたちが持つ“自ら育つ力”を信じ、その力を引き出すことに深く関わります。

② 心身の健康づくりを後押しする

（保健・医療領域）

“健やかなからだと安（康）らかなこころ”をだれもが保つことへの後押しをします。

③ みんなのスポーツで地域を元気にする

（福祉・スポーツ・まちづくり領域）

アスリートから愛好者まで、障がいのある人もない人も、皆が関われる多様なスポーツ環境の充実に貢献し、地域を元気にします。



3. しんたいの事業展開【アクション】

1) 第1期（2012～2015）と第2期（2016～2019）の総括（表1）

第1期（2012～2015）では、「元気な子どもをたくさん育てることが究極の介護予防」、「生涯現役の心身の健康支援」、「運動のバリアフリー」を3つの方向性に掲げて活動を進めました。第2期（2016～2019）では、それを踏襲・発展させて、「子どもの育ちを応援する（教育・子育て領域）」、「心身の健康を支援する（保健・医療領域）」、「みんなのスポーツを普及する（福祉・スポーツ領域）」の3つの行動指針と領域で示し、これらを相互に関連付けながら、研究活動と実践活動を進めてきました。

表1 中期計画：第1期（2012～2015）と第2期（2016～2019）の総括

	子どもの育ち	心身の健康	みんなのスポーツ
第1期	東御の子どもの元気な育ちを支える取り組み 里山探検事業（2012～） 専門保育士部会（2014～） 体力向上委員会（2016～）	市の健康保健・福祉（介護予防）施策への関わり 健康とうみ二次（2013～） 地域包括ケア（2013～） 各種事業の検証（2012～）	みんなの健康×スポーツ実行委員会の取り組み とうみユニバーサルスポーツクラブ立ち上げ（2015～） 高地トレ誘致推進（2014～）
第2期	①里山探検・外遊び活動充実への貢献（子どもの育ち×みんなのスポーツ） ②保幼小中であそびを育む取り組みへの支援（子どもの育ち×心身の健康） ③生活習慣改善・心の健康づくりの啓発（心身の健康×子どもの育ち） ④地域包括ケアシステム充実への寄与（心身の健康） ⑤ソーシャルキャピタル醸成への関わり（心身の健康×みんなのスポーツ） ⑥ユニバーサルスポーツの普及（みんなのスポーツ×心身の健康） 里山探検事業・運動あそび専門保育士部会・体力向上推進委員会の継続・発展的な活動。世代交流型自然体験・介護予防プログラム開発（2016）他、地域の人材育成の推進。地域における健康づくり・介護予防のための身体活動・運動実施のための継続的な支援。健康とうみ21後期計画策定支援、小学校区単位の健康課題学習（2016～）他評価分析。ポッチャをはじめとした各種ユニバーサルスポーツ普及・定着への取り組み（2016～）。高地トレーニング拠点・プール施設整備推進及びプロモーションの取り組み（2016～）。		

表2 公益財団法人身体教育医学研究所の運営サイクル

年度	1999	2008	2009-2011		2012-2015		2016-2018		2019 (R1)		2020 (R2)		2021 (R3)		2022 (R4)		2023 (R5)		2024
月	5	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6
役員等			理事・監事Ⅰ・Ⅱ		理事・監事Ⅲ・Ⅳ		理事・監事Ⅴ・Ⅵ		理事・監事Ⅶ		理事・監事Ⅷ		理事・監事Ⅷ		理事・監事Ⅷ		IX		
			評議員Ⅰ		評議員Ⅱ		評議員Ⅲ		評議員Ⅳ		評議員Ⅳ		評議員Ⅳ		評議員Ⅳ		V		
中期・年度計画	↑ H11.5.15開所		↑ H23.3.22公益財団法人認定				開所20周年												
	↑ H21.2.2法人化		第1期中期計画				計画見直し		第3期中期計画の実行期間										
	開所10周年				第2期中期計画										計画見直し		第4		
	H20	H22	H24	H26	H28	H30	決算	予算	R2年度事業	決算	予算	R4年度事業	決算	予算	R6				
		H21	H23	H25	H27	H29	予算	R1年度事業	決算	予算	R3年度事業	決算	予算	R5年度事業	決算				

2) 第3期の事業展開(表3)

第3期(2020~2023)では、研究所開所20周年の節目に振り返った「あゆみ」をふまえた活動の継続や、引き続き地域や社会から期待される役割を基盤としつつ、しんたいの「これから」を見据えて各所員が掲げた、以下の4つのキーワードと具体的な活動のイメージを視野に入れて、公益財団法人としての主体的な活動を強化していきます。

4つのキーワードと具体的な活動のイメージ	
①	子どもを真ん中にした多世代参加型の学び … 子どもの育ちを応援して、多世代で元気に。
②	「きっかけ」の種蒔き … 健康づくりの「きっかけ」を後押しすることで、地域の皆が元気に。
③	スポーツへの再適応 … 地域資源を最大限活用して、健康運動からスポーツへの参加に。
④	世界の中の「しんたい」「とうみ」 … 情報発信・収集や交流は、東アジアや世界を視野に。

表3 第3期中期計画の年度ごとの各活動の展開の見通し

		2020	2021	2022	2023
子どもの育ちを応援する	自然体験・外遊び活動の充実	●体験格差解消事業の立ち上げ		●持続可能な事業体制づくり	
		☆自然体験活動等の効果検証		☆事業成果に関する研究発表	
	からだを育む取り組み支援	●より良い保小中連携の検討		●切れ目のない支援体制づくり	
		☆育ちのデータベースづくり		☆事業成果に関する研究発表	
心身の健康づくりを後押しする	健康づくり・介護予防活動	●個々の主体的な行動変容を後押しするアプローチ(ナッジ等)			
		☆健康寿命延伸を目指した地域での継続的な取り組みの効果検証			
	地域包括ケア充実への支援	●地域の主体的な取り組みのサポート ●多職種・多分野連携支援			
		☆2025年に向けた地域包括ケア充実に伴う各種指標の動向の検証			
みんなのスポーツで地域を元気にする	ユニバーサルスポーツ普及	●ユニバーサルスポーツの普及		●地域主体の実施体制づくり	
		☆普及に伴う様々な効果の探索		☆事業成果に関する研究発表	
	高地トレーニングへの取り組み	●アスリートサポート体制構築		●地元アスリート強化への貢献	
		☆高地での健康運動の効果検証		☆事業成果に関する研究発表	

表内の記載の区分 : ●地域での実践 , ☆社会への発信

4. しんたいの運営体制【マネジメント】

1) 公益事業の三本柱

① 調査研究

身体教育医学に関する量的(疫学等)・質的(自然科学、人文・社会科学等)研究を行います。

② 教育啓発

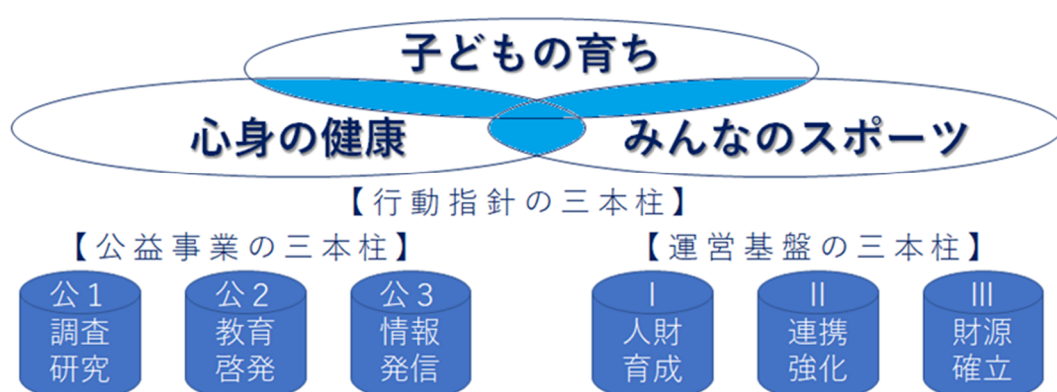
健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への講師派遣、相談指導等を行います。

③ 情報発信

法人主催の研修会、出版物の発刊、収集文献の一般公開、WEB発信等を行います。



「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域（信州・東御）から発信する



2) 運営基盤の三本柱

① 人財育成

専門性と総合性を兼ね備えた人財を確保し、外部との人事交流やインターンシップ受入等も行います。また「しんたい応援隊」等の住民組織づくりにも取り組みます。

② 連携強化

各関係機関との研究・実践両面の強固な連携を継続するとともに、その基盤となる社会的な信頼性を維持するために、法人内部のガバナンス強化を図ります。

③ 財源確立

自主財源の割合をより高めるために、自主事業の確立、研究費・モデル事業費等の獲得、応援寄附金制度の確立・活用等、ファンドレイジングの強化に努めます。

5. SDGs のゴール・ターゲットに貢献する しんたいの具体的取り組み

SDGs のゴール・ターゲット		しんたいの具体的取り組み
	3. d 健康危険因子の早期警告、 緩和・管理能力を強化する	地域での転倒・介護・フレイル予防、生活習慣病予防等の活動の中で取り組む。
	4. 7 教育を通して持続可能な開発に必要な知識・技能を得られるようにする	子どもたちとの運動あそびや自然体験、体力向上事業等の活動の中で取り組む。
	5. 5 意思決定において、女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保する	法人役員（理事・監事）の定数に占める女性の割合を4分の1以上にする。
	11. 7 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する	運動・スポーツや自然体験の促進につながる環境整備を政策提言に盛り込む。
	15. 4 生物多様性を含む山地生態系を保全する	子どもや保護者等との自然体験活動の中で、山地生態系の保全に取り組む。
	16. 6 透明性の高い公共機関を発展させる 16. 7 適切な意思決定を確保する	公益財団法人の運営の中で、常に、高い透明性と適切な意思決定を確保する。
	17. 17 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する	効果的なパートナーシップを活かして各種事業・法人運営等を展開していく。